

蓬萊町だより

第 四 十 七 号
平 成 十 三 年 七 月 二 日
蓬 萊 町 会 部
行 者 文 化
編 者 集 行 集

蓬萊町界限(その四十一)

天下まつりと根津権現(一)

林 順 信

◆天下まつりは御用まつり

(ハチ) 隠居に伺いますが、神田祭とか山王祭とかは、古くから有名ですなエ。あれが江戸二大まつりと言われて、その次に根津権現のおまつりが加わって江戸三大まつりって言うとか聞いてますが…。

(隠居) 平成の今日じゃ、江戸三大まつりってえことを、皆がでんでんに、勝手に喋ってるよ。神田祭と山王祭の二つだけは必らず入ってるんだが、三番目となるといろいろだ。やれ深川八幡祭だとか、浅草三社祭とか、中には三つじゃ足りねエっていうんで、五大まつりなんて言うてるけどね。

(クマ公) そうでげすよ。四谷天王祭、品川天王祭、南千住天王祭とか、中には今年九月に本祭り、それも五年に一度ってエ祭りの向島の牛島祭なんかも…、みんな自分とこのおまつり

が自慢で、勝手に決めてるでさあ…。

(隠居) それはそうだろうがねえ、クマ公、みんなは氏子町内が広いとか、氏子町内神輿の連合がでつかいからというんで、そう決めたつもりらしいけどね、江戸三大まつりというのは、次元が全くちがうということが、どうやらわかってないらしいね。

(ハチ) 毎年々々五月に本祭りをやってる浅草の三社祭は、ギャラリーが二百万人っていうんで自慢してるよ。深川八幡祭は三年に一度の大祭だが、氏子町内神輿の連合番付が一番から五十五番まであるんで、江戸三大まつりなんていうね。

(クマ公) 五十五番っていつてるけど、駒札の中には縁起のわるい番号がぬいてあるの知ってるかい。四番と四十二番だけは、忌み嫌ってはずしてるよ。ほかの神社のおまつりじゃ、四十四番とかまではづしてるとこあるよ。

(隠居) ホテルってエのも、外国人の嫌いな13号室とか日本人の嫌いな4号室や42号室はないことになってるからね…。それにしても深川の五十三町会の大人神輿の渡御は圧巻だね。八月中旬の猛暑の中、三・五キロの長丁場だしね。バケツやたらいや、消防のホースでドンドン水をかけるのは見ものだね。

(ハチ) 五年に一度しか大連合の見られない九月の牛島様だつて、四十六ヶ町の大連合で、三

社様の四十四ヶ町より多いくらいだし、氏子町内も多いから、現在の人たちの言う三番目はいろいろだね。牛島様の氏子神輿は、戦前からの三尺神輿がたくさん見られるんで楽しみだよ。

(隠居) さつきあたしが次元がちがうと言ったのは、それとはちがつて、神田祭も山王祭も、江戸幕府が出来てから、わりと早い頃から、幕府の寺社奉行と勘定奉行と町奉行の、三奉行がとりし切る、宮祭なんだよ。それは神田にしても山王にしても氏子の町々は広くあるんだけど、幕府からお金も出るし、祭りの当日は、厳重な警戒体制が敷かれて、祭礼の行列にも飛び入りはおろか、見物だつて、道路のきめられたゴザの上に行儀よく坐って見物してたんだよ。有名な『江戸名所図絵』の山王祭のところを見ても、観客は冊の中にゴザを敷いて行儀よく見物してる絵があるよ。

(クマ公) 今日の京都の祇園まつりの山鉦巡行のときみてエだなア。

(隠居) 山王祭は元々は近江の琵琶湖のほとりの日枝神社が御本社で、桓武天皇がその昔延暦十年(七九一年)に、二基の御神輿を寄進したといわれ、今じゃ七基も御神輿があるんだよ。

日枝神社は平家の信仰が厚くてね、その後、関東に平氏が中世に下つて来て各地を領有してた頃、川越在に勧請された。秩父氏、豊島氏、畠山氏、練馬氏、江戸氏、千葉氏とか豪族が沢

山いて尊崇されていた。

(クマ公) 太田道灌が長祿元年(一四五七年)

に、江戸城を築いたときに、道灌は日枝神社つまり山王様を厚くお祀りして、江戸城内に勧請したといわれますね。

(隠居) よく知ってるねクマ公は…。その後大分年数が経って、徳川家康が江戸入府の頃まで梅林坂にあった山王社を、文祿元年(一五九二年)に紅葉山に遷座されたんだ。その後、江戸城の拡張工事のとき、一たん半蔵門外の麴町に遷され、再び城内に遷座されたが、万治二年(一六五九年)に、現在の赤坂の台地の上に造営されて今日に至っている。考えてみると、徳川一五代の將軍のうちほとんどの將軍は江戸城内で誕生しているから、將軍家の産土神(うぶすながみ)は山王様つまり日枝神社というわけだ。現在の天皇家の産土神でもあるんで、戦前まで官幣大社だった。

(八千) とろろがですなえ、六代將軍家宣公は江戸城内では誕生しなかったんですねエ。

(クマ公) そのくらいのこと、根津様の氏子にはとっくにご存知あずまのすけってわけだよ。

(隠居) 山王様はそういうわけで、三代將軍家光の寛永十二年(一六三五年)に、祭礼の行列が江戸城内にねり込んで、將軍のご上覧を始め得ている。山王祭が江戸の中で特別に扱われてまた背景には將軍家があった。

(クマ公) じゃ神田明神の方はどうなんですか…？

(隠居) 江戸時代より前から、つまり関東一円には例の平将門を信奉する農民や町人が多かった。太田道灌の時代も、北條氏の時代も平将門を祀る、江戸先住民たちは、現在の大手町の近くの将門塚のある芝崎の土地を中心に、平将門を祀った神田明神の旧地があつて、江戸っ子の地主神だった。

(八千) その後は、一度は駿河台辺に遷って、遂には出神田という神田じゃない本郷台地に追いやられたけど、江戸時代には庶民の尊崇する神社だったんですねエ。ところで明治政府になってから戦争中まで、平将門は逆臣だという評価を受けて、神田明神の祭神からはずされてたんだよ。最近になってやっと三の宮の入母屋型という珍しい御神輿が平将門の来る神輿として復活したくらいだ。

(隠居) そうだよ。神田明神の現在地は考えてみると、本郷台地で、本来なら旧本郷区なのに、あそこだけ、神田区宮本町って言って、神田区つまり今は千代田区なんだね。まわりは全部本郷区湯島(文京区)に囲まれてんのね。

(八千) だから先号でご隠居の言ってたお宮を受け持つ宮頭は第四区の五番組が、今の増岡さんってわけですね。

(隠居) うんそうだ。この神田明神の方は、山

王様より少しおくれて、元祿元年(一六八八年)に江戸城内で始めて、將軍(五代綱吉)のご上覧を得ている。

(クマ公) じゃ神田祭もお上の宮祭だったんですねエ。少しその辺の事情はわかってきた。

◆二代まつりから三代まつりへ

(隠居) とろろで六代家宣公は、元々は甲府宰相の松平綱重の子息の綱豊が、綱吉の甥に当たるので、跡目を継いで六代になって、江戸城西ノ丸に入った。そこでその御屋敷の跡地を、幕府としては大切な土地、記念すべき土地として、五代綱吉が、これも天下普請という形で、各大名たちに命じて造営させたのが、現在の根津権現の建造物であり庭園であるわけで、先号で、池田暉さんが解説されている様に、団子坂上の元根津にあった、「ねづのごんげん」と旧江戸図に出ている古い神社を遷されたわけだよ。

(八千) だから六代家宣公は山王の産子(うぶこ)ではなく、ねづのごんげんの産子というわけなんですなえ。

(隠居) そこでだ、根津権現の造営が成つて六代將軍家宣公の産土神の大祭ということ、幕府の三奉行のともし切る天下まつりを根津権現祭にも適用することになった。だから幕府の宮祭ということだ。町民が好き勝手にやる自治祭とは次元が全くちがった。これで、従来の二大まつり(山王祭と神田祭)に、新たに根津権

現祭が加わって、「江戸三代まつり」という呼び名が江戸っ子の間で公認され、使われた。きょう一日じゃとても説明しつ切れないんで、また次のときに喋るつもりだけど、根津権現祭は未曾有の山車五十台が江戸全府から参加した天下祭だったが、幕府の都合や経済上の理由で、正徳年間（宝永年間から延期されて）に一度だけ行われた。その有様は、江戸の後期刷物となつて現在にまで伝わっている。次回は、山車のこと、御神霊のことなど具体的に話すつもりだよ。

「おしるこ」の会雑感

実行委員 大畑清心

正月も過ぎ、寒さ厳しい二月となりまして、恒例の町内餅つき大会が開催され楽しい一日を過ごす事が出来ました。

本年もこの時期になり、町会役員会にて、この「イベント」に付き協議され、今年は趣向を代え「おしるこ会」として行う事となりました。はじめての事でもあり、どの様な形態にするか、お碗は、お餅を焼く設備等々の問題や、どの位の人数分を用意するのか、難問は次々と出て参りました。

二月十六日（日） 当日を迎え、前夜来の雨が降り続く中、役員の方々が九時半に集合、

テント張り等の設営に掛り、婦人部の方の応援に以つて定刻十一時開店の運びとなる事が出来ました。

雨の中、三々五々と言いたい処ですが、一人二人とぼつぼつ見え、天を仰いで雨の降り止むのを待つばかりでしたが、昼頃には心配した雨も止み、役員が町内の勧誘に向き、ようやく、大勢の参加を得て、会も盛況となり、終了時刻の十四時には、予想外の完了となりました。参加された方々の反応は、大変気になる処ですが、寒い時期の温かい「おしるこ」は、好評でありました。

又、炭火で餅を焼きながらも、楽しく語らい情報交換等、親しく触れ合う場とする事が出来、大成功であったと自負して居ります。

今後、大勢の方々の参加しやすい企画を練り、活発な町会活動の一端を担って行きたいと切望して止みません。

町会活動の概要

平成八年十月中旬から平成九年二月初旬まで

総務部

10/21 「赤い羽根」共同募金御礼状、本日、各

掲示板に提出した（16箇所）

10/26 祭礼の締めくくりとして「反省会」を常

端寺で開催、出席者21名

10/28 「秋の火災予防運動」の回覧用チラシ3種類、各役員あて配布、同上のポスター、各掲示板に掲出。

平成8年度、文京区地域振興事業功労者の「推薦書」区に提出、1名

11/13 竹中俊之様の申し出により、当地区に担当役員1名増やして欲しいとの事については、海老原よし雄様にお引き受け戴きました、なお、引継ぎは1月からお願いをしておりますので、役員各位にお知らせをしておきます。

11/15 「事業系ゴミの有料化」に伴う清掃局の広報ポスター掲示。

11/18 長期療養中の北部、竹中様への役員各位の見舞金並びに12月14日のご苦勞会のお知らせを文書により配布する。

11/19 竹中様の自宅へお見舞いに伺い、役員各位から戴いた病氣お見舞金¥3500円をお届けして参りました。

11/23 門松絵ビラ（480枚）本日、納品されました。

” 北部役員、池沢様も9月末から長期に亘り入院中との話しを伺いましたので、重なりましたが早々に役員各位宛、お見舞いの案内を文書で通知。

12/5 門松絵ビラ、地域別に仕分けをして連絡員宅へ配布しました。

12/13 根津・向丘地区「ごみ問題懇談会」向丘

生涯学習館、午後1時半3名参加

12/14 12月役員会を兼ねて「ご苦労会」を行

いまいた、32名参加

12/16 1月15日、当町会員で本年成人を迎え

られる方は左記の方々です。

田上奈緒子様、市角寛之様、園田奈奥美

様、村山和絵様、小林愛子様、大畑ゆみ

子、竹中美恵様、山田修平様、

1/13 文京区町会連合会、新年交歓会、区民セ

ンターにて、午前11時〜

1/15 町会会員のご子弟で本年、成人式をお迎

え方に町会として祝品を贈呈いたしました。

1/24 向丘地区町会連合会新年交歓会、かねこ

にて、午後6時〜

2/8 ポスター掲示、税務署「確定申告の周

知」、町会「おしるこ会」の周知

防火防災部

11/10 「防災コンクール大会」駒本小学校校庭

に於いて開催、午前9時から

12/20 町会夜警実施計画書、阪本防火部長から

本郷消防署あて提出

12/23 本日から29日まで延べ7日間、歳末夜

警を実施する。期間中には種々ご協力並

びにご厚志を頂き有難うございました。

1/12 本郷消防団、出初め式、区民センターに

て、午前10時半〜

1/16 防火関係5団体、新年交歓会。

交通 部

1/9 駒込交通安全協会、新年交歓会。

「蓬萊だより」台46号10月30日付

本日、連絡役員あて配布

婦 人 部

1/31 婦人部新年研修会

☆婦人部員として新規に入られた方々が

おられるようです。

青 年 部

10/27 青年部主催、「町内親睦ボウリング大

会」を開催、後楽園ボウルにて

防 犯 部

1/30 駒込防犯協会、新年交歓会

計 報

当町会の方で平成八年十月から本年二月
までにご逝去なされた方のお名前は左記
の通りでございます。謹んで哀悼の意を
表わし、心よりご冥福をお祈りいたしま
す。

記
竹中 一馬様 常岡 裕光様
棚橋 勝太郎様 堀江 サイ様

会計よりご報告

10/14

「赤い羽根」共同募金、募金会あて

納金、¥186、200円

内訳：南部110件 75000円

中部 73件 56000円

10/30 北部 80件 54300円

本日、町会会計事務の引継ぎを行う

川西氏から堀江氏へ、

12/15 当となりませす。

今後、会計に関する事は堀江広明氏の担

領しました。

「歳末助け合い募金」本日正式領収書受

編集後期

平成九年のお正月を迎えたと思いましたがまた
たく間に桃の節句となりました。時の流れの早
さは昔から伝はれていることですが色々な分野
での情報伝達の早さが吾々の日常生活を否心な
しに変えています。近所隣りのおつき合ひも、
子供達の遊び方もづい分変ってりました。そ
の事のよし悪しは別に考えるところとして、人の心に
ふれ合ふ機会をつくる努力はお互いに無くした
くないものです。

編集委員

小林音吉、川西正造、猪熊良晃
倉田幸一、池田 暉